

主体別指針（市民向け）

1 基本的考え方

（１）趣旨

- ・ 「何に取り組んでよいかわからない」という市民に向け、市民に望まれる行動と効果を分野横断的に掲げる（見える化する）指針を作成する。

（２）作成のポイント

- ・ 市民に望まれる行動については、必要な行動を分野横断的に抽出するとともに、「簡単ですぐにできる」「金銭的にお得である」「みんなもやっている」「（みんなはやっていない）自分だけの取組である」といった、行動の動機づけと共に示す。
- ・ 動機づけについては、上に掲げた一般的なもののほか、「やってはいけないことへの注意喚起」や、「さらに取り組みたい方」を想定したものも用意する。

2 行動の動機づけの項目

①【気軽に、ついでに、できること】

簡単に取り組める、地域と企業への応援メニュー

②【実はおトク？こんな選択も】

ひと手間加えて、お得を楽しむ

③【意外とみんなやっている】

意外とみんなやっている前向きな取組

④【くらしをアップデート ワンランク上の選択】

ちょっと大変だけど効果大

⑤【わたしらしく、こだわる】

納得できる、じっくり知るとはじめてくなる取組を紹介

⑥【これだけは、気をつけたい】

環境への悪影響が強い禁止事項の注意喚起

⑦【知って・学んで・もっと夢中に】

環境の大切さや行動の必要性を楽しく知る・学ぶ

⑧【将来いつかは実現】

高難易度（でも効果が高い）の内容

3 掲げる行動について

- ・ それぞれの動機づけに対応して、具体的な取組がイメージでき、市民にとっての効果、環境への効果が理解できる内容を、分野横断的に示すとともに、効果についても可能な限り数値で示す。
- ・ とりわけ、上記動機づけの項目の①～⑤については、きっかけを得た市民が、すぐに行動に移せる内容であるかどうかを重視する。

4 指針の要素

(1) 動機づけと具体的行動

呼びかけ・説明文	(具体的) 行動 (案)
【①気軽に、ついでに、できることを選ぶ】 買い物のついでに、思い出したときにできることから。簡単に取り組める、地域と企業への応援メニュー。	・手前どり (食品廃棄量 6 割減) ・地産地消 (輸送 CO₂〇〇割減) ・使い捨てプラ削減 (レジ袋〇〇枚減/年) ・再エネ電力切り替え (電力の CO₂ がゼロに)
【②実はおトク?こんな選択も】 続けるほど差が出るもの。ひと手間加えて、光熱費や維持費が変わる選択を。	・マイカーより公共交通機関 (車の CO₂ の〇〇分の 1) ・家計にもやさしい 3 R (分別・食品ロス削減) (ごみ〇割減・処理費〇〇円) ・節電・省エネ家電 (電気代〇〇円削減)
【③意外とみんなやっている】 自分だけがやっている気がする、実は京都では、これだけの人がもう始めています。	・さすてな京都で環境学習 (年間 6 万人が訪問) ・街を歩いて移動 (72%が楽しめる行動と回答) ・いつでも携帯マイボトル (57%の人が利用) ・脱炭素で生活の質を向上 (54%が向上を実感)
【④くらしをアップデート ワンランク上の選択】 まだやっている人は少ないけれど、やってみると効果大。住まいや暮らしを見直すタイミングで。	・太陽光発電の設置 (電気代〇〇%削減) ・断熱改修 (光熱費〇〇円削減) ・コンポスト (燃やすごみ〇割減) ・催しへの参加[情報収集・学び]
【⑤わたしらしく、取り組むこだわり】 自分のこだわりが実は大きなインパクト。食べるもの、買うお店、自分の基準で。	・ヴィーガン (食の CO₂ 〇〇%減) ・家の庭やベランダの緑化 ・お気に入りの古着・中古品を使う ・伝えて広めるわたしの選択[情報発信]
【⑥これだけは、気をつけたい】 知らないと、うっかりやってしまうことがあります。 数はわずかですが、影響が大きいものです。	・リチウムイオン電池 (発火事故で 1.5 億円の被害) ・外来種の放流[メダカ放流] ・公害 (騒音振動・大気汚染・水質汚濁)
【⑦知って・学んで、もっと夢中に】 意味がわかると、いつもの景色が少し違って見えます。 雨庭、在来種、まちの緑。知るところからまず始める。	・学びの入口エシカル消費 (認知割合〇〇%) ・知れば納得生物多様性 ・エコで探検京都のまち ・未来へつながる環境学習
【⑧将来いつかは実現】 今は難しくてできなくても、少しでも早めに関与できれば、環境への貢献も、暮らしの満足度にも大きなインパクト。	・ZEH 建築 (光熱費年〇〇万円減) ・EV への移行 (燃料費年〇〇万円減) ・保全活動・グループへの参加 ・退蔵ごみの排出

（２）市民向けの呼びかけ（イメージ）

①導入

暮らしのなかでできることは、たくさんあります。

ただ、はじめる理由は人それぞれです。

手間が少ないから。少し得だから。みんながやっているから。逆に、まだあまりやっている人がいないから。

この指針では、その「きっかけ」ごとに行動を提案します。

気になった入口から、あなたの生活に取り入れてみてください。

②締めの一とこと（指針の最後の方に挿入）

ひとつやってみたら、もう一度この８つの「きっかけ」に戻ってみてください。

はじめは気にならなかった入口が、気になっているかもしれません。

（３）行動の効果

- ・ それぞれの項目に、以下のような詳細情報を用意する。

（例）手前どり（廃棄 6 割減）

すぐに食べるものは、棚の手前から選ぶことで、お店で期限切れになって処分される食品が減ります。京都市内のスーパー12店舗で呼びかけたところ、対象４品目の廃棄は前年より約６割減りました。（「販売期限の延長の取組」等の効果も含む。）食品をつくり、運び、処分するまでに出るCO2も減り、生産に使われた水や農地を無駄にせずに済みます。

出典：「販売期限延長の取組」と「手前どり」を組み合わせた 事業者・消費者による販売時・購入後の食品ロス削減 取組を中心とした京都市食品廃棄ゼロエリアモデル事業 最終報告書

(<https://www.env.go.jp/recycle/foodloss/pdf/htkz.pdf>)